

苫小牧市立清水小学校学校だより

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

第3号 令和2年5月28日発行

TEL 33-7285
simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

ご協力に感謝申し上げます



校長 堀田 稔

4月にいよいよ入学、始業したと思ったら、1週間少々に臨時休校、そろそろ始まると思ったら休校延長など、先が見えずに大変な中、多くのご理解とご協力をいただいていますことに、心より感謝申し上げます。北海道でも緊急事態宣言が解除され、ようやく学校が再開できることをとてもうれしく思っています。

休校中に外で子どもの声がきこえたので、つつい嬉しくなり、2階の校長室からマスクをせずに、児童クラブの開館を待ち、玄関前にいる子ども達に「おはよう」と声をかけると「校長先生の顔、初めて見た」という声が返ってきました。そう言われると、マスクをしての登校と学校生活を送っており、顔を見る機会がなかったことを改めて認識し、これからは、いつも以上に接点を大切にしていかななくてはならない、という思いを新たにしています。清水小学校の現状をお知らせしますと

○清水小学校の児童のみんなは元気です。

休校期間中に大きな事故やケガ、健康に関する報告はありませんでした。工夫したり、我慢したりしながら毎日頑張ってくれてくれたと思います。また、この期間中に転出した3年生がいました。そして、2、6年生に新しい友達が来てくれました。仲良く過ごしてほしいです。そして、将来に向けて一生懸命学習活動に取り組み、楽しい毎日を過ごしましょう。

○先生方も元気です

このおよそ2か月間、先生方は皆さんの課題を準備したり、校内をくまなく消毒したり、学校が再開したら、勉強が遅れないように短い期間でどう教えるか、行事はどうするかなどの計画を立てながら、計画・準備・変更・業者等の連絡調整を何回も繰り返し行っていました。清水小学校の皆さんが元気に笑顔で登校してくる日を楽しみにして、健康に気を付けながら過ごしていました。

○これから

苫小牧市教育委員会の要請を受けて授業を再開していきませんが、清水小学校では、運動会、運動会練習、各種行事の時間を減らして、今のところ、一番授業を増やさなくてはならない学年でも2週間弱の時間で、すべての授業が挽回できそうです。長期休業を活用して、次年度、子ども達が困らないように全力で取り組んでいきたいと思っています。

宿泊学習、修学旅行は当初計画以外の日程で予約を取り直しております。詳しくは各学年からお伝えします。また、学芸会については、今のところ実施予定です。

今回のコロナウイルス感染拡大防止に関して、教育に携わる者として考えさせられることが、多くありました。その中でも「自分だけがよければ」「自分の価値基準と違うのは、おかしいことだ」「自分が苦しいのだから、あなたも苦しくなって当たり前、あなたが苦しくないのはずるい」など、報道で見聞きするたびに「豊かな心、思いやり」の大切さを強く感じています。子ども達一人ひとりが未来の日本社会を創っていきます。「みんなでよい方向に進もう」と考え行動できる大人になるように、これからも、教育活動を頑張っていきたいと考えております。長期間の休校に際しまして、ご協力いただきました保護者の皆様、地域の皆様感謝申し上げます。今後も変わらぬ、保護者、地域の皆様のご協力、ご参画をよろしくお願いいたします。